

が最後の思ひ出となつてしまひました。以來五年間はあはただしくくれ、昭和十九年には幼稚園は一時休園となり附設保育園として保育事業をつゞけた次第でした。

最も敢園したのは名古屋だと皆様に云はれる様に、度々の空襲を受け、美しい園舎だつた思ひ出の第二幼稚園始め次々と焼夷弾に焼かれ爆弾に倒れ二十年の八月十五日終戦の日を迎へた時には、辛じて守り通した第一幼稚園と、私立幼稚園の少数が残されたのみでございしました。そして、子供はなし、保姆はなし、いつになつたら復興を見ることかと一時は手のつかない心細い状態でございましたが、昭和二十一年を迎へると、一月十日には第一幼稚園が開園、二月十二日には第三幼稚園が名古屋驛前の新明國民學校の一部を借り受け開園致しました。被害をまぬがれた私立幼稚園もそれ、次々と復舊してまいりました。七月十日には市保育會を結成し、全市の幼稚園關係者が集りましたが、その数はわづかに十七と云ふ淋しいものでした。焼け残つた幼稚園は幸として、焼失して立ち上つたのは師範學校の附屬幼稚園と私の第三幼稚園の二つだけでございます。

七月十四日は愛知縣保育會の總會を開き縣下の幼児教育關係者が集りました。名古屋市の他、豊橋、岡崎、一宮等殆んど被害を受けましたが、それ、に復舊を急ぎつゝある現状でございます。戦前の二百餘といふ幼稚園數に對して只今は百餘といふ淋しい減少となつては居りますが、今後の幼児教育の重大性を思ひます時に、必ずや戦前以上の復興を見なくてはやまぬと、一同意氣に燃えて勉強に修養に計畫をたてゝ進みつゝあります。又、保育會のいつの會合にも緊急動議として叫ばれる、幼稚園令第一條の改正、幼稚園の義務制、幼稚園制度の一元化等も近い將來必らづ實現されるであらうことを信じ、大きな期待をもつて斯道の爲に邁進致して居ります。

附記。永年名古屋保育會の幹事長として斯の道の爲におつくり下さつた加藤カツ先生が本年五月御退職になりました。新らしく初めから建て直しのこの大切な時に、まことに遺憾に存じますが、先生には大きい抱負の下に創設なされた文化學團長として、女性文化の向上の爲に御活躍のことと、新事業の前途を祝福しつゝ御知らせ致します。

## 彙報

### 教育刷新委員會

田中文政の核心となる學制改革を推進するため内閣に「教育刷新委員會」を設置することになり十日付で官制と人事が発令された。委員會の使命はわが國教育の根本的刷新を斷行するため教育制度、内容、方法など重要問題を調査審議し、その結果を總理大臣に報告、また總理大臣の諮問について答申することであり、委員會が自由な立場でその使命を遂行しうるやうこれを文部省に附屬させず内閣の所轄としてゐる。

委員會の組織は、さきに米國教育使節團來朝の際設けられた日本側委員會を改組擴充し、正副委員長各一名、委員五十名以内で、前文相安倍能成氏をはじめ、宗教、文化、政治、經濟、産業界より左のごとく選任された、なほ若干の委員が追加される豫定である。

(京大總長) 烏養利三郎 (東大總長) 南原繁 (東京音樂學校長) 小宮豊隆 (東大文學部長) 戸田貞三 (一高校長) 天野貞祐 (東大附屬醫局長) 柿沼長作 (東大教授) 關口鯉吉 (東京文理大學長) 務藤理

作(京大文學部長) 落合太郎(東京農專校長) 高橋隆道(東京美術學校校長) 上野直昭(東京第一師範學校校長) 木下一雄(東京體專校長) 大谷武一(教育研修所長) 城戸幡太郎(衆議院議員) 吉田均(貴族院議員) 竹下豊次(衆議院議員) 森戸辰男(東京女高師教授) 倉橋惣三(明治學院長) 矢野貫城(東大名譽教授) 佐野利器(東京聾啞學校長) 川本宇之介、安倍能成、安藤正次、羽溪了諦、渡邊鏡藏、(都立一中校長) 菊池龍道、大島正徳(大日本育英會會長) 田邊道治(國民校長) 名倉愛吉(青年校長) 有賀三一(國民校長) 山極武利(青年校長) 牛山榮治、關口泰(津田塾校長) 星野あい(惠泉女專校長) 河井道、田川房太郎(慶大總長代理) 高橋誠一郎(早大總長) 島田孝一——(朝日新聞)

## 日本保育研究會の活動

日本保育研究會は昭和十八年八月發會して、種々の研究活動を行つて來たが終戦日の最初の幹事會を開いたのは昭和二十一年二月。其の後、度々幹事會を開き、會の性格、方向、方針等を検討し、民主主義の線に添つて、保育關係者の自主的な研究活動を育て進める様話し合ひ、三月から新發足の仕事を始めた。

### 三月「幼児教育に關する各政黨の政見を聴く會」

之は民主政治への選挙の折から、幼児教育の重要性を一般に知らすと共に、政治的に問題を取上げてもらふ様にと、計劃したのであるが、惜しくも種々の事情で中止となつた。

### 四月「保育巡回懇談會」

民主主義保育への保姆の現在の認識や態度及保育方法、研究會に

對する希望等を話し合ひ併せて研究會の行き方を知りたいたい爲、都内十二ヶ所の保育施設に會場を願つて、其處に近い保育施設四、五ヶ所が集り、本會より幹事二名宛順に出席して、保姆さん達、經營者共々懇談。

### 五月「歌の撰び方と、新しいリズム運動」

前回の巡回懇談會中保姆さん達の技術方面の希望に添ふ最初の仕事として之を取り上げ、酒田富治先生、戸倉ハル先生のお二人に頼ひして、土曜日午後、二回の講習會を催した、之迄の「教へて頂いて、子供にそのまま傳へる」の態度から、保姆が「自分で創作し勉強する」態度に進みたい、最初の試み。第一回目はお講義をきき、第二回目は、作詞、作曲をして來て、その中から比較的良好いものを撰んで頂き、それに振付して、御注意と御批評を頂いた。

### 六月「これからの幼児教育」

神田教育會館で、倉橋惣三先生、羽仁說子先生のお二人に御講演願つた。

### 七月 研究協議會「民主主義と幼児教育」

司會者

愛育研究所 森脇 要先生  
教育研修所 三木安正先生

演題並に講演者

民主主義に於ける教育の理想 城戸幡太郎先生  
日本保育の過去及將來 倉橋 惣三先生  
基督教精神と幼児教育 高崎 能樹先生  
佛教精神と幼児教育 安藤 正純先生